



第 4 3 期 株 主 通 信

平成23年5月1日～平成24年4月30日

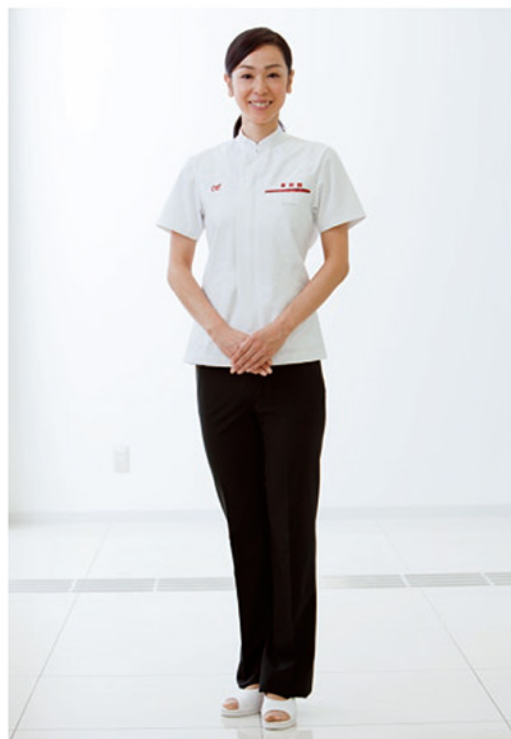
Financial Report

今日に伝えるチカラ。
明日を支えるチカラ。

アイングループ

569 店舗

全国に広がるネットワーク



ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は、当社に温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、第43期（平成23年5月1日から平成24年4月30日まで）の決算が終了致しましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

わが国の経済は、東日本大震災からの着実な復旧・復興とともに、緩やかながら持ち直しの傾向が見られるものの、依然として欧州政府債務危機及び原油高等に伴う懸念が残っております。

このような環境下、当社は新規出店やM&Aを活用し事業を積極的に拡大するとともに、店舗運営の効率化及び管理業務の集中化を推進し、収益力の強化に努めてまいりました。

今後も一層の企業価値向上に取り組む所存でございますので、株主の皆様におかれましては、何卒ご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 **大谷喜一**

Q 今期の業績はいかがでしたか。

医 業事業におきましては、調剤薬局既存店が堅調に推移したことに加え、グループ全体でM&Aを含み55店舗を出店したことで、売上高は前期比11.2%の増加となりました。

物販事業は、駅ビル、オフィスビルの商業施設に都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」7店舗を出店し、売上高は前期比3.9%の増加となりました。

今期は、新規出店の他、調剤薬局事業会社9社をM&Aにて取得するなど更なる拡大を進める一方で、中規模以下の調剤薬局事業子会社5社を出店地域に応じて当社及び各地域の中核子会社3社に吸収分割または合併し、引き続き、間接コストの圧縮と機動的な組織体制の整備を進めました。

以上により、当社の業績は売上高1,427億9千万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は105億4千7百万円（同28.5%増）、当期純利益は48億9千9百万円（同25.1%増）と5期連続で過去最高を更新することが出来ました。

Q 医薬事業の展開についてどのようにお考えですか。

調 剤薬局市場は、6兆円を超えた現在も拡大を続けています。当社ではこれまでと同様に、患者様の利便性に優れた門前型薬局（医療機関の近隣に立地する保険調剤薬局）を中心に、積極的な出店とM&Aにより事業規模及び出店エリアの拡大を継続いたします。さらに、より積極的な出店戦略として取り組みを開始した調剤薬局を含むメディカルモール開発についても、大都市部の駅ビルなど利便性の高い場所を確保し出店を加速していきます。

また、平成24年4月の調剤報酬改定において、ジェネリック医薬品についての国の使用促進姿勢がより明確になりました。当社では100%子会社の株式会社ホールセールスターズ（ジェネリック医薬品専門卸）とともに、これまで以上に積極的に推奨していく方針です。

その他、在宅医療への取り組み強化のため平成24年5月に在宅医療部を新設しました。今後の高齢社会における医療を支えるべく、在宅医療に本格的に取り組んでいきます。

Q 物販事業の展開について
どのようにお考えですか。

物販事業では、コスメティック商品及び医薬品の売場レイアウトの見直しとMD強化を集中的に行い、収益の改善に努めてまいりました。また、モバイル版の顧客会員システムの充実を図りSNS（※）を利用した販売促進手法を活用することで高効率・低コスト化が実現しました。

また、店舗運営及び管理コストの効率化のため、当社以外のグループ会社で唯一物販事業を行っておりました株式会社アインメディアより、平成24年4月に東海地区のドラッグストア11店舗を吸収分割により承継いたしました。今後もコスメティック商品を中心にバラエティ性の高い店舗コンセプトで展開する都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」を全国に出店するとともに、顧客ニーズに応えるため、新たな取り組みを進めてまいります。

（※） SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス

Q 平成24年4月の医療費改定の
影響についてお聞かせください。

今回の医療費改定は、平均薬価引下率が6.25%と例年並みの水準となる一方、ジェネリック医薬品のさらなる普及拡大と、在宅医療・介護の推進への配分が特徴となりました。

現在、日本のジェネリック医薬品の使用率は、数量ベースで20%を超えたところであり、60%を越える欧米諸国に比べ、未だ著しく低い水準にあります。

当社グループでは、同医薬品専門卸である株式会社ホールセールスターズ（当社100%出資会社）を軸として、グループ薬局一貫流通体制を構築し、同医薬品の普及拡大が、高収益型の事業となる体制を整備しております。

また、厚生労働省が主体となり、在宅医療・介護が推進されるなか、とりわけ調剤薬局の連携体制がこれまでに増して求められております。

今回の医療費改定において、調剤薬局の在宅医療に対し、新たに、調剤報酬が設定されましたが、当社グループとしても、全国500店舗の調剤薬局ネットワークが在宅医療の一員として、地域のインフラとなるよう対応してまいります。

Q 今後の業績について
お聞かせください。

来期においては、現在積極的に取り組んでいるメディカルモール型の調剤薬局を含め、グループ全体で調剤薬局66店舗、ドラッグストア10店舗の合計76店舗の出店を予定しています。

これにより、売上高1,575億円（対前年比10.3%増）、経常利益116億3千万円（同10.3%増）、当期純利益60億1千万円（同22.7%増）と売上利益ともに過去最高を更新する見込みです。

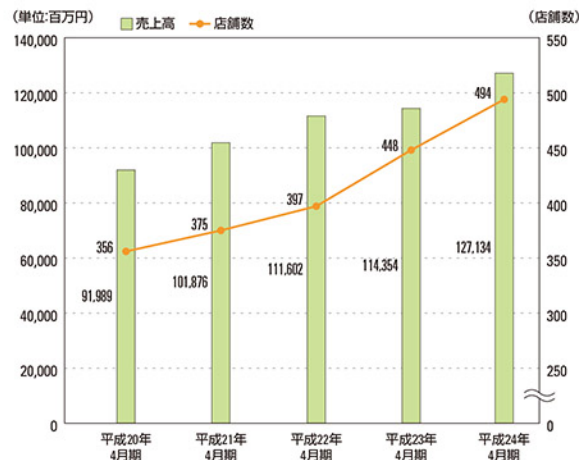
一株当たり予想当期純利益は376円94銭となり、一株当たり配当金も普通配当において、10円増となる60円と5期連続の増額を予定しております。

また、中期計画「Transcend（※1）2000（※2）」も2期を終え折り返し地点に入りました。売上高の進捗は遅れていますが利益については順調に達成しており、残り2年間をフル活用して新たな出店戦略や業務改善を進めることで、第45期に向けて本計画の達成を目指し邁進してまいります。

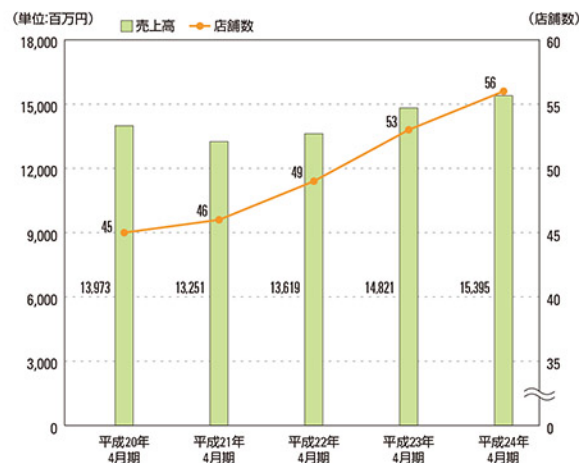
（※1）Transcend：超える、超越する

（※2）Transcend 2000：アイングループ中期計画（平成23年4月期～平成26年4月期）詳細は当社ホームページを参照

医薬事業売上高・店舗数の推移



物販事業売上高・店舗数の推移



医薬事業 pharmacy



調剤薬局事業では、従来通りの基幹病院の門前型調剤薬局を中心の出店に加え、大型医療モールからの処方せん応需を目的とする店舗の開発に本格的に取り組み、駅ビル内または近隣等の利便性の高い地区に相次いで出店いたしました。

また、本年度は広域にわたるM&Aを行い、グループ全体で調剤薬局事業会社9社を連結子会社とし、一方でグループ運営の効率化のため、5社の調剤薬局事業子会社を出店地域に応じて当社及び各地域の中核子会社3社に吸収分割または合併により集約いたしました。

当連結会計年度は、M&Aを含めて55店舗の出店を行い、グループ全体における調剤薬局数は494店舗となりました。その結果、売上高は1,271億3千4百万円（前年同期比11.2%増）となり、セグメント利益につきましても122億8千6百万円（同20.3%増）と増収増益となりました。

topics (医薬)

当社では、従来の門前型出店に加え、新たな出店戦略としてメディカルモール型薬局の出店を進めてまいります。大都市部の駅ビル、オフィスビルなどにメディカルモールを開発し、調剤薬局を同モール内に出店するタイプを中心とした出店を進めています。門前型出店とは異なり自ら好立地を創出することで、更なる店舗拡大を可能とするとともに、より多くの患者様の利便性に 대응できると考えています。2012年5月にJR川崎駅の駅ビル「アトレ川崎」内に診療科目8科のナビタスクリニック川崎と出店するなど、大型薬局の開発が次々と実現しています。



アトレ川崎医療モール（神奈川県川崎市）
（上）アイン薬局アトレ川崎店
（下）ナビタスクリニック川崎

The use of information technology

調剤業務のオートメーション化

私たちの願いは、患者さま一人ひとりに、より身近に寄り添えること。確実にお薬をお渡しすること。処方せんの入力から鑑査まで、各調剤工程のフルオートメーション化を目指し、さまざまな業種との連携、調剤機器の共同開発を日々すすめています。

調剤自動化

全自動で錠剤を取り出す「ロボピック」
 全自動で水剤を調合する「ファーマフレックス」
 最新の機器を配備し、調剤工程を自動化することで、
 安全性を高めながら、待ち時間の短縮を実現します。



ロボピック



ファーマフレックス

スマートフォンを用いた電子お薬手帳のサービスを開始

㈱NTTドコモとAndroid対応アプリ「アインお薬手帳」を共同開発しました。
 毎日持ち歩くスマートフォンにお薬情報を入れておくことで、
 万が一に備えた「安心」といつでも見れる「利便性」を提供します。
 2012年7月より全国の店舗でサービスを開始しております。



アプリ画像



QRコード、またはFeliCaを利用し、スマートフォンに調剤情報を取り込むことで、いつでも容易にお薬の情報を確認することができます。飲み忘れ防止のためのアラーム設定、メモ書き等の機能もあり、患者様の治療をサポートします。



物販事業では、夏季の冷却関連商品や冬季の暖房小物等一部商材が好調に推移したものの、震災以降の全体的な消費マインドの低下は依然として続いています。当社では、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の新規出店と既存店の収益改善を同時に進めてまいりました。

今期は、駅ビルへの出店である「札幌パセオ店」「新さっぽろデュオ店」やオフィスビルへの出店の「みなとみらい店（横浜市）」を含む7店舗の出店を行いました。従来通り、駅ビル商業施設等の人口集中地区を対象としながらも、確実な収益性と投資回収性を確保、維持可能な新店を展開するために開発プロセス自体の見直しを行いました。

当連結会計年度は、収益改善に取り組んだことで売上高は153億9千5百万円（前期比3.9%増）となり、セグメント利益は1億2千5百万円（前期は2億7百万円の損失）となりました。

topics（物販）



アインズポイントクラブのモバイル版、「トルペモバイルクラブ」は、お買い得情報、新着商品など、最新の流行を顧客会員のモバイルツールに直接発信します。

トルペモバイルクラブは、Twitterとの連携による店舗、顧客間双方向の交流、コスメ・健康に関する最新情報の掲載など、多彩なコンテンツを備えています。これまでのDMを中心とした情報発信とは飛躍的に利便性が向上し、現在8万人を超える方々にご利用いただいています。



アインズ&トルペ札幌パセオ店（札幌市北区）

アインズ&トルペ

Suitable location to needs

ニーズに合わせた最適立地へ

活き活きと美しく生きる。そのしあわせをお届けしたい。

アインズ&トルペは女性のために生まれた、ヘルス&ビューティーのセレクトショップです。

より身近に。より便利に。

ご利用になるお客様のニーズに合わせたさらなる利便性を追求し、

エキナカ、エキチカ店舗を中心に発展させた最適立地へ出店をしています。

ainz & tulpe

カラダの内と外、両方のキレイを提案するコスメと
ドラッグのセレクトショップ

《様々な立地への出店展開》

◆駅ビル



東京駅店（東京都千代田区）

◆オフィスビル



みなとみらい店（横浜市西区）

◆商業施設内



アリオ札幌店（札幌市東区）



エキュート立川店（東京都立川市）



中野セントラルパークイースト店（東京都中野区）



イトーヨーカドー旭川店（北海道旭川市）

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成23年4月30日現在)	当連結会計年度 (平成24年4月30日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産	38,032	40,320
現金及び預金	15,437	15,935
受取手形及び売掛金	10,247	10,985
商 品	8,268	8,138
貯 蔵 品	107	114
繰延税金資産	928	891
未 収 入 金	2,036	2,757
そ の 他	1,133	1,523
貸倒引当金	△ 127	△ 26
固 定 資 産	38,871	45,570
有形固定資産	13,451	15,256
建物及び構築物	6,456	7,048
土 地	5,420	5,621
建設仮勘定	235	824
そ の 他	1,338	1,761
無形固定資産	14,827	18,655
の れ ん	13,867	17,664
そ の 他	960	990
投資その他の資産	10,592	11,657
投資有価証券	2,959	2,825
繰延税金資産	1,233	1,122
敷金及び保証金	4,990	5,758
そ の 他	1,638	2,208
貸倒引当金	△ 229	△ 256
繰延資産	35	17
株式交付費	35	17
資産合計	76,940	85,908

科 目	前連結会計年度 (平成23年4月30日現在)	当連結会計年度 (平成24年4月30日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	37,616	42,945
買 掛 金	19,706	22,524
短期借入金	5,883	6,397
未払法人税等	2,421	2,739
預 り 金	6,722	7,714
賞与引当金	948	965
役員賞与引当金	9	12
ポイント引当金	313	302
災害損失引当金	11	—
そ の 他	1,600	2,288
固 定 負 債	9,824	9,216
長期借入金	7,147	6,318
社 債	184	—
退職給付引当金	1,270	1,448
そ の 他	1,222	1,449
負債合計	47,441	52,162
(純資産の部)		
株 主 資 本	29,778	33,976
資 本 金	8,682	8,682
資本剰余金	7,872	7,872
利益剰余金	13,227	17,426
自己株式	△ 4	△ 5
その他の包括利益累計額	△ 327	△ 281
その他有価証券評価差額金	△ 327	△ 281
少数株主持分	48	50
純資産合計	29,498	33,745
負債純資産合計	76,940	85,908

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成22年5月1日から 平成23年4月30日まで)	当連結会計年度 (平成23年5月1日から 平成24年4月30日まで)
売上高	129,387	142,790
売上原価	109,297	119,697
売上総利益	20,089	23,093
販売費及び一般管理費	11,981	12,839
営業利益	8,107	10,253
営業外収益	585	746
営業外費用	483	452
経常利益	8,210	10,547
特別利益	130	82
特別損失	696	848
税金等調整前当期純利益	7,644	9,782
法人税、住民税及び事業税	4,038	4,652
法人税等調整額	△ 312	228
少数株主損益調整前当期純利益	3,918	4,901
少数株主利益	1	1
当期純利益	3,916	4,899

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成22年5月1日から 平成23年4月30日まで)	当連結会計年度 (平成23年5月1日から 平成24年4月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,627	11,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,881	△ 9,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	463	△ 2,131
現金及び現金同等物の増減額	4,209	537
現金及び現金同等物の期首残高	11,188	15,397
現金及び現金同等物の期末残高	15,397	15,935

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成23年5月1日から平成24年4月30日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
平成23年5月1日 期首残高	8,682	7,872	13,227	△ 4	29,778	△ 327	△ 327	48	29,498
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 717		△ 717				△ 717
当期純利益			4,899		4,899				4,899
連結範囲の変動			17		17				17
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					—	46	46	1	48
連結会計年度中の変動額合計	—	—	4,199	△ 0	4,198	46	46	1	4,247
平成24年4月30日 期末残高	8,682	7,872	17,426	△ 5	33,976	△ 281	△ 281	50	33,745

■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第42期 (平成23年4月30日現在)	第43期(当期) (平成24年4月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	22,119	24,903
固定資産	37,967	43,537
有形固定資産	6,736	7,871
無形固定資産	1,136	1,858
投資その他の資産	30,094	33,807
繰延資産	30	14
資産合計	60,117	68,455
(負債の部)		
流動負債	30,734	37,580
固定負債	7,926	7,335
負債合計	38,661	44,915
(純資産の部)		
株主資本	21,782	23,819
資本剰余金	8,682	8,682
利益剰余金	7,872	7,872
自己株式	5,231	7,269
評価・換算差額等	△ 4	△ 5
その他の有価証券評価差額金	△ 327	△ 280
純資産合計	△ 327	△ 280
負債純資産合計	21,455	23,539
	60,117	68,455

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	第42期 (平成22年5月1日から 平成23年4月30日まで)	第43期(当期) (平成23年5月1日から 平成24年4月30日まで)
売上高	63,273	70,786
売上原価	53,329	59,104
売上総利益	9,944	11,682
販売費及び一般管理費	7,377	7,990
営業利益	2,567	3,691
営業外収益	919	956
営業外費用	453	268
経常利益	3,033	4,379
特別利益	249	835
特別損失	483	665
税引前当期純利益	2,799	4,550
法人税、住民税及び事業税	1,338	1,743
法人税等調整額	△ 51	52
当期純利益	1,511	2,754

■ 株主資本等変動計算書

第43期(当期) (平成23年5月1日から平成24年4月30日まで)

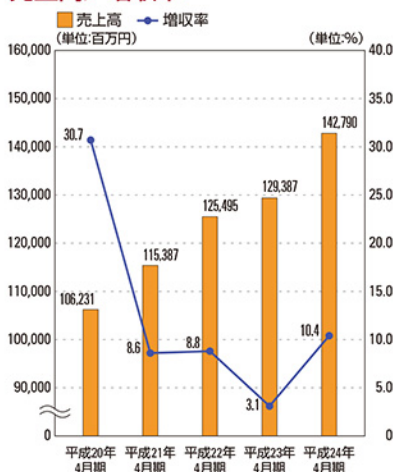
(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他 別途積立 金	利益 剰余金 合計	利益 剰余金 合計					
平成23年5月1日 期首残高	8,682	6,872	1,000	7,872	1,800	3,431	5,231	△ 4	21,782	△ 327	△ 327	21,455
事業年度中の変動額												
別途積立金の積立					200	△ 200	-					
剰余金の配当						△ 717	△ 717		△ 717			△ 717
当期純利益						2,754	2,754		2,754			2,754
自己株式の取得								△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										47	47	47
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	200	1,837	2,037	△ 0	2,036	47	47	2,083
平成24年4月30日 期末残高	8,682	6,872	1,000	7,872	2,000	5,269	7,269	△ 5	23,819	△ 280	△ 280	23,539

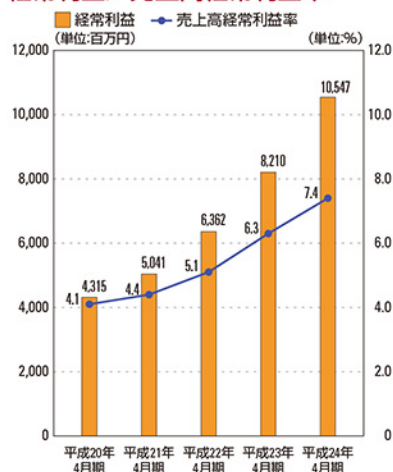
平成24年4月期

売上高	1,427億9千万円	前年同期比110.4%
経常利益	105億4千9百万円	前年同期比128.5%
当期純利益	48億9千9百万円	前年同期比125.1%

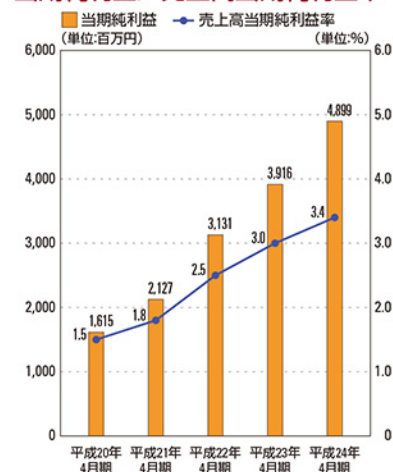
売上高／増収率



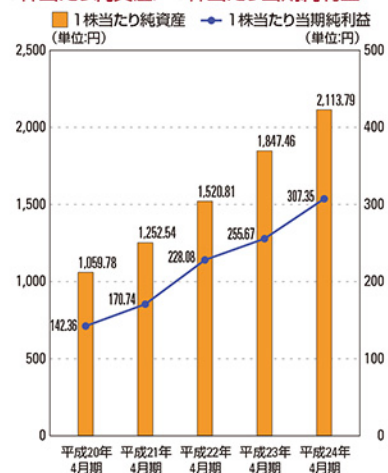
経常利益／売上高経常利益率



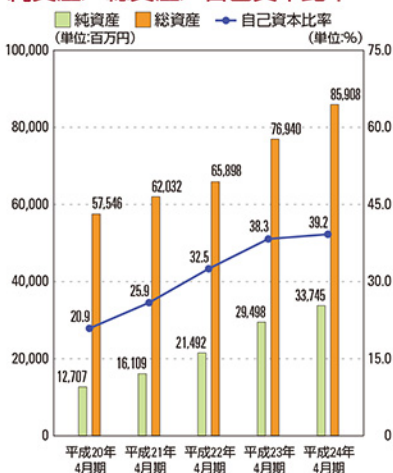
当期純利益／売上高当期純利益率



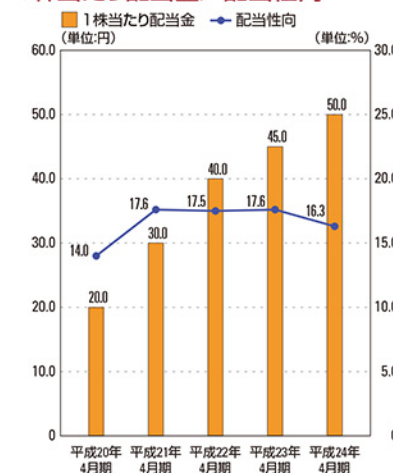
1株当たり純資産／1株当たり当期純利益



純資産／総資産／自己資本比率



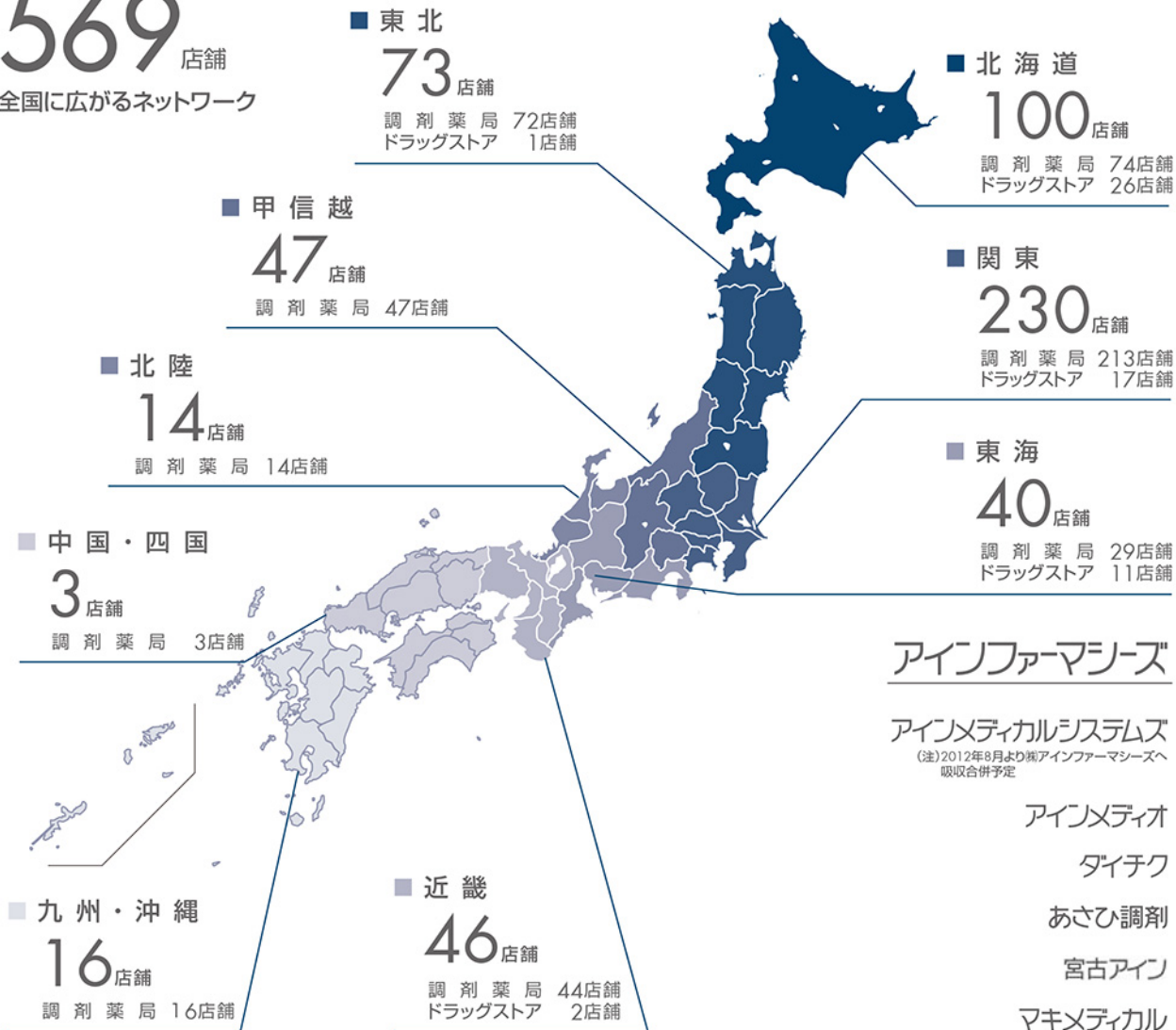
1株当たり配当金／配当性向



アイングループ

569 店舗

全国に広がるネットワーク



アインファーマシーズ

アインメティカルシステムズ

(注)2012年8月より舊アインファーマシーズへ
吸収合併予定

アインメディオ

ダイチク

あさひ調剤

宮古アイン

マキメティカル

<p>商 号 本 社</p> <p>設 立</p> <p>資 本 金</p> <p>従 業 員</p> <p>事 業 内 容</p>	<p>株式会社インファーマシーズ 札幌市東区東苗穂5条1丁目2番1号 TEL (011) 783-0189 (代表)</p> <p>昭和44年8月</p> <p>86億8,297万円</p> <p>3,326名(連結) 1,574名(単体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調剤薬局チェーン アイン薬局 ・ドラッグストアチェーン アインズ アインズ&トルペ トルペ
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>役 員 構 成</p>	<p>代表取締役社長 大 谷 喜 一</p> <p>代表取締役副社長 南 雲 正</p> <p>代表取締役副社長 加 藤 博 美</p> <p>専務取締役 川 井 淳 一</p> <p>専務取締役 櫻 井 正 人</p> <p>専務取締役 首 藤 正 一</p> <p>専務取締役 水 島 利 英</p> <p>取 締 役 大 石 美 也</p> <p>取 締 役 南 晃</p> <p>取 締 役 小 林 強</p> <p>取 締 役 木 内 政 雄</p> <p>取 締 役 森 洸</p> <p>常勤監査役 川 村 幸 一</p> <p>監 査 役 居 林 彬</p> <p>監 査 役 小 林 敏 章</p>
-----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2012年7月28日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	15,944,106株
株主数	2,165名
大株主(上位10名)	

株 主 名	持 株 数		持 株 比 率 %
	千株		
大 谷 喜 一	1,654	10.38	
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,240	7.78	
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	1,240	7.78	
株式会社北海道銀行	786	4.93	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	611	3.84	
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	594	3.73	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	514	3.22	
J.P. MORGAN CLEARING CORP-SEC	494	3.10	
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	486	3.05	
今 川 美 明	442	2.77	

(注) 持株比率は自己株式(3,316株)を控除して計算しております。

株 主 メ モ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日
定時株主総会	毎年7月開催
基準日	毎年4月30日
配当金受領株主確定日	その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。 毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店および全国各支店(みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	<p>支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記フリーダイヤルまでご連絡ください。 ・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 ・みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。 	

公 告 方 法 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<http://www.ainj.co.jp>)といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。